

## 先生からのオススメ本紹介

根津小学校の先生から、休校中の読書にオススメの本を紹介してもらいました。

質問項目： ① タイトル ② 作者 ③ 対象学年 ④ おすすめの一言

- ① あらしのよるに
- ② きむら ゆういち
- ③ 1年生向き
- ④ ある嵐の夜にヤギとオオカミが同じ小屋に避難しました。真っ暗闇で互いのことがわからない中、意気投合した二ひき。普通だったら友達になりえないのですが、勘違いから仲良くなります。二ひきの友情関係がどうなるのか目が離せません。

- ① ともだちや
- ② 内田 麟太郎
- ③ 1・2年生向き
- ④ 森に住むきつねは「ともだちや」を始めることにしました。友だちがほしくてさびしい人に、「1時間100円」で友だちになってあげるお話です。「友だちって何だろう？」という問いの答えを、親子で一緒に探してみませんか。

- ① トラのじゅうたんになりたかったトラ
- ② ジェラルド・ローズ 作／ふしみ みさを 訳
- ③ 1～3年生向き
- ④ トラといえば普通、強い動物のイメージですが、このお話に出てくるトラは無防備でやせ細った情けないトラです。そんなトラが、ごちそうにありつくために知恵を絞ります。なんと「トラのじゅうたん」と入れ替わってしまうのです。ハラハラドキドキ最後には素敵なハッピーエンド。みんなで笑って楽しめる本になっています。ぜひ読んでみてください。

- ① 赤いろうそくと人魚
- ② 小川 未明
- ③ 2・3年生向き
- ④ この本は、先生が子供のころに読んだ絵本で、いまだに心に残っています。ろうそくに、美しい絵を描いていた人魚の少し悲しいお話です。保護者の方もぜひ、読んでみてください。感動の物語です。

- ① ぼくは王さま
- ② 寺村 輝夫
- ③ 2・3年生向き
- ④ どこかの国に住む、どこかの王さまが主人公のお話です。ちょっとワガママでちょっとえらそうで、ちょっと自分勝手だけど、素直で優しいところもある王さまが、いろいろなことをひらめき、周りを困らせたり、楽しませたりする愉快なお話が4つ入っています。この本だけでなく、「王さまシリーズ」としてたくさん本があるので、王さまの活躍を

たくさん楽しむことができます。ぜひ手にとって読んでみてください。

- ① 小さなスプーンおばさん
- ② アルフ・ブリョイセン
- ③ 2・3年生向き
- ④ この本は、先生が子供の頃とてもわくわくしながら読んだ本です。ある日突然、体が小さくなってしまったスプーンサイズのおばさん。次々といろんな方法で家事をこなしていく様子がとても面白かったです。ぜひ読んでみてください。

- ① 走れ メロス
- ② 太宰 治
- ③ 3～6年生向き
- ④ 自分の命か親友の命、どちらかを選ばなければならないメロスの心の葛藤が生き生きと描かれています。人を信じぬくことの大切さを知り、こんな友情を築いてほしいという願いを込めておすすめする本です。

- ① MAPS 新・世界地図
- ② アレクサンドラ・ミジェリンスカ&ダニエル・ミジェリンスキ
- ③ 3～6年生向き
- ④ 世界の国について知りたいと思ったことはありませんか？ MAPS は各国々の特徴がよく描かれていて絵本っぽく表されているのでとても見やすく世界を学べる一冊になります。皆さんもぜひ手にとって読んでください。

- ① おじいさんのかさ
- ② 佐野 洋子
- ③ 4年生以上向き
- ④ ひらがなで書いてある本ですが、あえて4年生以上にすすめます。この本の面白さは、4年生以上でないとわからないかもしれないからです。文章もリズムも合って朗読にぴったり。4年生以上に上手に読んでほしい一冊です。

- ① 冒険者たち ガンバと15ひきの仲間
- ② 斎藤 惇夫
- ③ 4・5年生向き
- ④ 町ネズミのガンバが、イタチと戦う島ネズミを助けるために、15ひきの仲間と船で向かいます。島では色イタチのノロイが率いるイタチの群れと戦います。全体を通して、好奇心、冒険心、犠牲、友情、愛情、いろんな要素が詰まった素敵な一冊です。色々な特技を持つ仲間がそれぞれの持ち味を生かして活躍するというまさに ONE TEAM の在り方を示すような内容です。

- ① ルーム・ルーム
- ② コルビー・ロドスキー
- ③ 4～6年生向き
- ④ 私が小学生の時に初めて買った本です。大好きなお母さんを亡くした小学5年生のリビィは、お母さんの友人である

ジェシーに引き取られます。リビィは新しい環境にとまどいながらも、新しい家族、周りの人たちの中で少しずつ心をひらいていきます。切なくあたたかい気持ちになる物語です。大人の方にもおすすめしたい本です。

- ① びりっかすの神様
- ② 岡田 淳
- ③ 5・6年生向き
- ④ 一番になるとか、ビリになるとか…そんな話は、学校や社会ではよくあることですが、人生の中ではそういうことだけが大切なわけじゃないという作者からのメッセージが伝わってくる作品です。びりっかすの神様がどんな神様か、興味がある人は読んでください。

- ① デルトラ クエスト (全8巻)
- ② エミリー・ロッダ 作 / 岡田 好恵 訳
- ③ 5・6年生向き
- ④ この春休みに6年の望月先生に薦められて、特別登校の子供たちが学習している時に一緒に読んだ本ですが、ハリーポッターのようなファンタジーとロールプレイングのようなストーリー展開に引き込まれて夢中になりました。あなたも主人公のリーフたちと一緒に謎解きにチャレンジしてみませんか。

- ① ハッピーバースデー 命かがやく瞬間(とき)
- ② 青木 和雄
- ③ 5・6年生向き
- ④ 言葉の持つ「意味」を考えさせる。日頃、何気なく使っている言葉が人に対してどのような気持ちにさせているのだろうか。

- ① 怪人二十面相
- ② 江戸川 乱歩
- ③ 5・6年生向き
- ④ 私が5年生の頃夢中になって読んでいた、名探偵明智小五郎の推理小説です。当時は46巻まであったので、全巻読破するのに2～3年かかったでしょうか。今は再編成され、全26巻になっています。今回紹介している「怪人二十面相」はシリーズの1巻目にあたり少年探偵団も大活躍します。たくみなトリックやハラハラドキドキする事件展開にきっと時がたつのも忘れてしまうのではないのでしょうか。ぜひ読んでみてください。

- ① 日本の伝統色
- ② 浜田 信義
- ③ 5・6年生向き
- ④ 平安から江戸・明治・現代まで、色の原点をたどるヴィジュアル事典。四季の移ろいから生まれた色や伝統の中から生まれた色を中心に、日本人の美の心が生んだ伝統色約250色が紹介されていて、それぞれの色の名前の由来を読むだけでも、色やそれにまつわる画像を眺めるだけでも楽しい色の辞典です。難しい漢字も多いので高学年向きかと思いましたが、色や画像を楽しむだけなら低中学年でも楽しめると思います。

- ① ルドルフとイッパイアッテナ
- ② 齊藤 洋
- ③ 6年生向き
- ④ うっかりトラックに乗ってしまい岐阜から東京に運ばれてしまった猫のルドルフ。東京で出会った野良猫の親分「イッパイアッテナ」。ルドルフを岐阜の家に帰らせるために奮闘するイッパイアッテナや仲間の野良猫たちとの様々な出会いを通して、ルドルフはたくましく成長していきます。友情の素晴らしさを教えてくれる一冊です。

- ① はてしない物語
- ② ミヒヤエル・エンデ
- ③ 6年生向き
- ④ 先生が小学6年生の時に会った本です。いろいろな本を読みましたが、中でも特に印象に残っています。物語は、いじめられっこの少年が古本屋で1冊の本を万引きするところから始まります。現実世界と本の世界の2人の主人公、様々なファンタジーの世界の生き物、予想できない展開・・・本当に題名の通り終わりのない、はてしなく広がる世界を楽しむことができるはずです！少し難しい部分もありますが、是非時間のある時にじっくり読んでほしいです。ほんと、感動するから！

- ① エルマーのぼうけん
- ② ルース・スタイルス・ガネット
- ③ 全学年向き
- ④ 小学生低学年の頃、風邪で学校を欠席した日に読んだ忘れられない本です。休んだ憂鬱な気持ちが吹っ飛び、一気に読み終わりました。そして、続編があると知り、「エルマーとりゅう」「エルマーと16ぴきのりゅう」を買ってもらい読みました。どの学年でも楽しめると思います。

- ① おこだでませんように
- ② くすのき しげのり
- ③ 全学年向き
- ④ 特別支援教育に携わるようになってから、この本と出会いました。いつも叱られてばかりいる少年の思いに気づいた時のお母さんや担任の先生の反応に 我が身を振り返りました。子供の思いに寄り添うことの大切さを改めて感じる感動作です！

- ① ふたりはいつも
- ② アーノルド・ローベル
- ③ 全学年向き
- ④ がまくんとかえるくんの友情、やさしさ、お互いを思う気持ちに心が温まります。がまくんとかえるくんのおはなしに「あるある」「そうそう」と共感が持てるのではないのでしょうか。緩やかで温かい友情で結ばれているふたりのおはなしを読んでいると「いいなあ こんな友達ほしいなあ」と思います。この本はシリーズ本でほかにも「ふたりはいっしょ」「ふたりはともだち」「ふたりはきょうも」があります。